



いい顔いい声いい心

2026.9.1 (火) VOL.8 文責：校長 野田 浩司

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/irabayashi-e/>



「言葉を磨く」— あいさつを土台にして、心の通い合う言葉へ

2学期がスタートしました。一回り成長した子供たちの笑顔と元気な声が学校に戻り、みんなで気持ちを新たにすることができました。

1学期、伊良林小では「ハッピーあいさつ」に力を入れて取り組んできました。取組を進めるにつれ、登下校時や廊下などですれ違う際、相手の目を見て明るく声をかける姿が随所に見られたことを大変嬉しく思っております。家庭や地域でも温かく見守り、声をかけてくださった皆様のご協力で心より感謝申し上げます。

さて、行事も多く、子供たちが大きく伸びるこの2学期は、1学期の成果をさらに一步深めたいと考えております。そこで、今期の取組として掲げるテーマが「言葉を磨く」です。

「あいさつ」という素晴らしい土台の上に、日頃の「言葉遣い」という美しい花を咲かせたいそんな思いを込めています。

言葉は、人の心を映す鏡であり、人と人をつなぐ大切な架け橋です。

「ありがとう」「どうぞ」「大丈夫？」といった相手を思いやる温かな言葉（ふわふわ言葉）を使うことは、自分自身の心をも優しく磨くことにつながります。反対に、乱暴な言葉やトゲのある言葉は、知らず知らずのうちに大切な人の心や自分の心をも傷つけてしまいます。

学校では、授業や日常のあらゆる場面を通じて、言葉の持つ力や美しさに気づき、よりよい表現を選び取れるよう指導してまいります。

保護者の皆様におかれましても、ご家庭での会話の中で「素敵な言葉遣いだね」「その言い方は嬉しいね」と、お子様の言葉の輝きを認め、育んでいただけますと幸いです。

今日の始業式では私がよく使う言葉「あなたはあなたの使う言葉でできている」を示しながら普段使いの言葉の重要性、友達を「さん付け」で呼ぶことの大切さなどをお話ししました。

子供たちが美しい言葉を交わし合い、互いを高め合える2学期となるよう、教職員一同、心を合わせて取り組んでまいります。今学期も変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

始業式の児童代表あいさつは6年生代表が行いました。

自分の思いの詰まった堂々とした発表でした。



6年1組荒木さん

1学期に1年生のお世話や応援団の活動を頑張った経験を踏まえ、2学期は「真のリーダー」として行動することや、学習面では苦手教科を克服することなどを話してくれました。



6年2組内田さん

Vファーレン長崎の試合観戦で感動した夏休みの思い出や、小体会や修学旅行に向け仲間と協力し合うことを目標としていることなどを話してくれました。